



WORLD MONUMENTS FUND、2020 WORLD MONUMENTS WATCH を発表

ベアーズ・イアーズ国定記念物、イースター島、マチュピチュ近辺の景観などが、25カ所の危機に瀕した世界のモニュメント・リストに含まれる

[ニューヨーク発 2019年10月29日] World Monuments Fund (WMF) は本日、2020 World Monuments Watch を発表しました。WMF は、現代社会が及ぼす影響のために、歴史的に極めて重要でありながら危機に瀕している文化遺産を、2年ごとに指定しています。リストに掲載された25カ所は、都市開発、政治不安、自然災害あるいは武力衝突などの脅威にさらされているか、歴史文化の保全のための説得力のある機会を提示しています。プログラムのクライマックスである来年春には、創立スポンサーである American Express により、修復活動に使用される総額100万ドルを獲得する複数の Watch 文化遺産が選定されます。

2020 Watch には、次のモニュメントが含まれています。冒涇の危機にさらされている北米先住民の聖地**ベアーズ・イアーズ国定記念物**（アメリカ合衆国）。マチュピチュの近くに存在する豊かな文化的景観で、飛行場建設計画が持ち上がっている**インカの聖なる谷**（ペルー）。人々に愛される大聖堂で世界的な象徴でもあり、近年の大火災が文化遺産に対する人々の愛着の深さと、その破壊が個人的なトラウマになりかねないことを克明に示した**パリのノートルダム大聖堂**（フランス）。公民権運動のテキサス州における重要なランドマークで、再開発計画により消滅の危機にさらされている**サンアントニオ市のウールワースの建物**（アメリカ合衆国）。民族浄化の波で破壊されたヤジディ教徒の聖堂で、その再建が少数派コミュニティの尊重と相互理解につながると期待される**マム・ラシャン聖堂**（イラク）。「イースター島」として広く知られ、文化的に重要な岩面彫刻の消滅を食い止めるために、地元コミュニティが管理および新たな解決方法を探っている**ラパ・ヌイ国立公園**（チリ）。リストの25カ所は、合計21カ国にまたがり、先史時代から20世紀に及びます。

2年ごとにコミュニティや個人、その他の主体が、緊急に行動する必要がある、かつ修復活動を通じて社会の変化を促す可能性を持つ文化遺産を推薦します。2020 Watch には250件以上の推薦が寄せられました。厳密な審査が重ねられ、最終選考に責任を負う文化遺産の専門家の独

立パネルで吟味された結果、25 件のモニュメントが選出されました。World Monuments Fund は各文化遺産の地元ステークホルダーと協働し、アドボカシー、計画立案、教育普及活動、修復介入を含む活動の策定と実施を目指します。その結果コミュニティの回復力を向上させるとともに社会的包摂を高め、さらに文化遺産保存の分野およびその周辺領域における新たな可能性を構築することを目指しています。プログラム開始以降、135 以上の国と地域から、836 以上の文化遺産が取り上げられてきました。これには 2020 Watch で推薦された文化遺産も含まれます。Watch の文化遺産に国際的な注目が集まった結果、各地の地元団体は、国や地方政府、財団、企業スポンサー、国際援助団体、個人の寄付者などからの財政的支援を獲得しやすくなります。1996 年以降、WMF は Watch の文化遺産に対して 1 億 1 千万ドル以上の金額を支給しています。一方他の団体からは 3 億ドル近い金額が提供されています。Watch Day もまたプログラムに含まれ、公共イベントを通じて地元コミュニティと文化遺産を繋げることを目指しています。

「2020 World Monuments Watch には、イースター島のような象徴的な文化遺産や、サンアントニオ市のウールワースの建物のように社会的に重要な場所が含まれています。このことが示すとおり、私たちにとって重要な場所というのは、その建築学的な価値だけでなく、世界中のコミュニティに及ぼした影響力によっても決定されるのです」と、World Monuments Fund CEO の Bénédicte de Montlaur は述べています。「これらの特別な文化遺産は、人々を結びつけて修復保存と社会の変化を融合するような、持続可能なコミュニティ主導型の解決策を必要としているのです。World Monuments Watch がこの流れを始動させられることを、大変喜ばしく思っております」

American Express は、WMF のパートナーとしてプログラムを開始した 1996 年以来、World Monuments Watch の成長を支える重要な役割を果たしてきました。現在までに同社は Watch の文化遺産への助成金として 1,850 万ドルを提供しており、71 の国の 174 の文化遺産が未来に向けて存続することを可能にしました。

「American Express が社会を支援する一つの重要な方法は、文化的に重要な場所へのアクセスしやすさ、およびその持続可能性を保証することです」と言うのは、American Express Foundation 理事長の Timothy J. McClimon 氏です。「2020 World Monuments Watch に含まれる文化遺産は、どれもコミュニティの活力や持続力に貢献しています。WMF とのパートナーシップを通じて、

これらの場所が今後何世代にもわたって繁栄し続けるための財源を提供できることを喜ばしく思っております」

今年、Stavros Niarchos Foundation (SNF) から提供されたチャレンジ助成金で、Watch Investment Fund が創設されました。これによって、2020 Watch の文化遺産は、社会に変化をもたらすその力に応じて、追加の助成金を得られる可能性があります。2020 Watch は、Ford Foundation からの援助も得ています。

2020 World Monuments Watch の文化遺産は、様々なテーマや可能性を反映しています。その例は次のようなものです。

先住民族の声を発信する

近代史を通じて先住民族は、たとえ自分たちの土地や資源、インフラ、継承した財産に関わることであったとしても、往々にして意思決定プロセスから除外されてきました。2020 Watch は、先祖伝来の遺産の管理と、彼らにとって大切な場所の運命を決定するプロセスへの参加を要求している三つの先住民族コミュニティに注目しています。文化的に重要な岩面彫刻の消滅を食い止めるために、地元コミュニティが管理および新たな解決方法を探っているラパ・ヌイ国立公園（チリ）のコミュニティ。現在持ち上がっている飛行場建設計画に関して、包括的で公平な解決策を求めているインカの聖なる谷（ペルー）のコミュニティ。そして政府の開発計画により聖地が冒涇の危機にさらされているベアーズ・イヤーズ国定記念物（アメリカ合衆国）の先住部族です。

歴史的な知識システムの強化

数百年の歴史を持つ伝統的な建築やインフラ開発のシステムは、重要な歴史的・文化的な記録であるだけでなく、現代のコミュニティにも、時の試練を経た教訓を与えてくれます。しかしこうしたシステムは大切に育み、維持しない限り消滅の危険があり、現代社会は先人の知恵から学ぶことはできないでしょう。2020 Watch の三つの文化遺産は、歴史的な知識システムが現代コミュニティに積極的に恩恵を与える力を持っていることを示しています。デカン高原の歴史的な水管理システム（インド）において、伝統的な水管理システムを復活させられれば、それは現代の水資源危機の一つの解決策となるでしょう。ベナンとトーゴのクタマク、バタマリバ人の土地では、保存活動の進展を通じて、バタマリバ人の土地と暮らしにおける伝統と変化

のバランスを取ることができるかと期待されます。そしてミャンマーの伝統的なビルマ・チーク材の農家では、生活水準の向上を目指す中で伝統的な建築様式が一挙に失われつつあり、その研究と記録化が求められています。

災害からの復興

自然災害か紛争かを問わず、発生した災害からの復興プロセスは、しばしば長く複雑なものです。2020 Watchにおいて、この点から注目している四つの文化遺産では、再建・保存活動によってコミュニティの傷が癒されることが期待されています。民族浄化の嵐の中で破壊されたイラクの**マム・ラシャン聖堂**の再建活動を通じて、これまで平等な権利を否定されてきた少数派コミュニティと相互承認しあい、平等を育むことができます。**プエルトリコのセントラル・アギーレ歴史地区**（アメリカ合衆国）では、木材建築の研修プログラムが災害からの復興を支援すると同時に、新たな雇用を生み出すでしょう。**ポルトープランスのジンジャーブレッド様式の地区**（ハイチ）では、歴史的な建築への資金援助を通じて、ハイチの首都になくてはならない重要な教育・文化施設の存続を図ることができます。そして**パリのノートルダム大聖堂**（フランス）では、諸外国の専門家を交えた注意深く科学的な修復活動を通じて、人々に愛されてきたこのランドマークはコミュニティに返されるのです。

重層的な物語を紡ぐ

私たちの世界の特に関心のある場所では、時代と文化が幾重にも重なって存在してきましたが、その一つ一つに関する歴史叙述は、必ずしも平等なものではありませんでした。2020 Watchでは、次の二つの例などを通じて、これまで過小評価され、無視されてきた歴史叙述に光をあてることを目指しています。**テキサス州サンアントニオ市のウールワースの建物**（アメリカ合衆国）は、同じ市に存在するアラモ伝道所に対抗して保存の機運が高まっている、公民権運動を象徴する場所です。また**ブハラの旧ユダヤ人街（マハッラ）の伝統建築**（ウズベキスタン）に関しては、記録および援助活動を通じて、移住により中央アジアに誕生したユダヤ人コミュニティの歴史に注目が集まるでしょう。

コミュニティの財産としての文化遺産

文化的な重要性が認められるのは、決して有名なモニュメントに限られません。コミュニティが愛着を示す場所は、人々が新しいビジョンを持ったり保存に向けて新たな決意を示すだけでも、住民の満足感を保ち、レクリエーションの機会を与え、日常生活の舞台として大切な財産と

なってくれます。2020 Watchには、こうした場所が6例含まれています。**アレクサン宮殿（エジプト）**では地元アシュートのイニシアティブにより、閉鎖された大きな歴史的邸宅が、市民や観光客が立ち寄れる博物館に生まれ変わろうとしています。**ポルトープランスのジンジャーブレッド様式の地区（ハイチ）**では、歴史的な建物の維持活動を通じて、重要な教育・文化施設の存続が図れます。**稲荷湯（日本）**では、急速に姿を消しつつある東京の下町の銭湯を支えるコミュニティが、保存活動を通じて社会の課題に取り組もうとしています。**カナル・ナシオナル（メキシコ）**では、政府が押し進める新たな公園建設計画に対して、国内最古のこの人工水路のコミュニティ・スチュワードが、議論への参加を求めています。**キンドラー礼拝堂およびパビヤニツェ・プロテスタント墓地（ポーランド）**では、礼拝堂を文化施設として再開することにより、文化交流の機会を求めてきたコミュニティにそのチャンスが与えられるでしょう。そして**ベナリー高架橋（英国）**では、産業革命時代のこの珍しい遺構の地元スチュワードたちは、人々の幸福と自然環境へのアクセスに役立つコミュニティの財産として、これを活用したいと考えています。

都市化および開発の脅威

世界各地で進行中の都市化の波は、様々な姿で顕在化しています。例えば、都市とそこに存在するコミュニティの関係を変化させかねない建設計画や、地元ステークホルダーが必ずしも経済的恩恵を受けられないオーバーツーリズムの問題などが挙げられます。2020 Watchには、都市化および開発の脅威に取り組んでいる以下の五つの場所が含まれています。**トウシェティ国立公園（グルジア）**では、地元コミュニティは、地域開発が住民の生活を崩壊させることなく、持続可能な観光業を推進することを目指しています。**カトマンズの渓谷のチヴァとチャイティア（ネパール）**では、市街地の拡大により多数の奉納堂が破壊されたため、コミュニティのメンバーたちが行動を起こしています。**アナルカリ・パザール（パキスタン）**では、コミュニティ主導の活動を通じて、ラホールの名高い市場でもあるこの市街地の生活水準を向上させることができます。**インカの聖なる谷（ペルー）**では、新しい飛行場の建設で豊かな文化的景観が破壊される可能性があるため、コミュニティは包括的で公平な解決策を求めています。そして**アクセルキアの中庭付きの家々（スペイン）**では、社会の変化、高級住宅地化、現代の観光産業を含む、歴史的な都市環境が直面する数々の問題の新たな解決策が模索されています。

2020 World Monuments Watch の完全リスト

1. クタマク、バタマリバ人の土地、ベナンとトーゴ

2. オンタリオ・プレイス、カナダ
3. ラパ・ヌイ国立公園、チリ
4. アレクサン宮殿、エジプト
5. パリのノートルダム大聖堂、フランス
6. トウシェティ国立公園、ジョージア
7. ポルトープランスのジンジャーブレッド様式の地区、ハイチ
8. デカン高原の歴史的な水管理システム、インド
9. サルダール・バラブバーイ・パテル・スタジアム、インド
10. マム・ラシャン聖堂、イラク
11. 稲荷湯、日本
12. 岩松地区、日本
13. カナル・ナシオナル、メキシコ
14. チョイジンラマ寺院、モンゴル
15. 伝統的なビルマ・チーク材の農家、ミャンマー
16. カトマンズの渓谷のチヴァとチャイティア、ネパール
17. アナルカリ・バザール、パキスタン
18. インカの聖なる谷、ペルー
19. キンドラー礼拝堂およびパビヤニツェ・プロテスタント墓地、ポーランド
20. アクセルキアの中庭付きの家々、スペイン
21. ベナリー高架橋、英国
22. ベアーズ・イアーズ国定記念物、アメリカ合衆国
23. セントラル・アギーレ歴史地区、アメリカ合衆国
24. サンアントニオ市のウールワースの建物、アメリカ合衆国
25. ブハラの旧ユダヤ人街（マハツラ）の伝統建築、ウズベキスタン

さらに詳しく知るには wmf.org/2020watch をご覧ください。

World Monuments Fund 提供の高解像度の画像を含むプレスキットの完全版は、[こちらからダウンロード](#)できます。

World Monuments

Fundは人がたどる世界の場を保存目指して活動する非営利組織です。50年以上100以上の国で高技術を専門家達が世界の重要な文化遺産の保存技術を提供してきました。WMFは地元コミュニティ、出資者、政府と連携して未来の世代に引き継いでいくことを目指しています。ニューヨークを拠点とし、世界各地事務所が置かれています。詳細はwww.wmf.orgをご覧ください。または[facebook](https://www.facebook.com/wmf.org)、[Twitter](https://twitter.com/wmforg)、[Instagram](https://www.instagram.com/wmforg) および [YouTube](https://www.youtube.com/wmforg) でフォローしてください。

###

プレス窓口：

Hillary Prim、広報ディレクター、World Monuments Fund、+1-646-424-9582 または
hprim@wmf.org